

第V章 介護保障

1. 介護に対する不安意識

ここでは、介護に対する不安意識について、その程度や内容について捉えている。

(1) 自分の介護に対する不安の有無

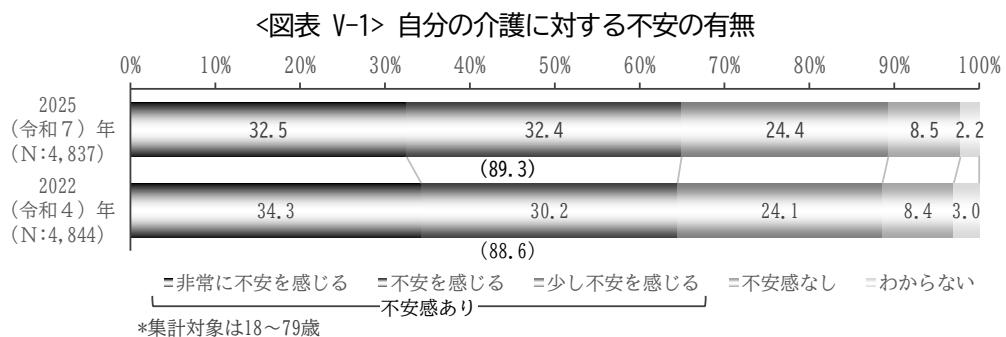
まず、自分が将来要介護状態になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、仮にご自身が将来介護される状態になった場合を考えると、どの程度不安を感じますか。

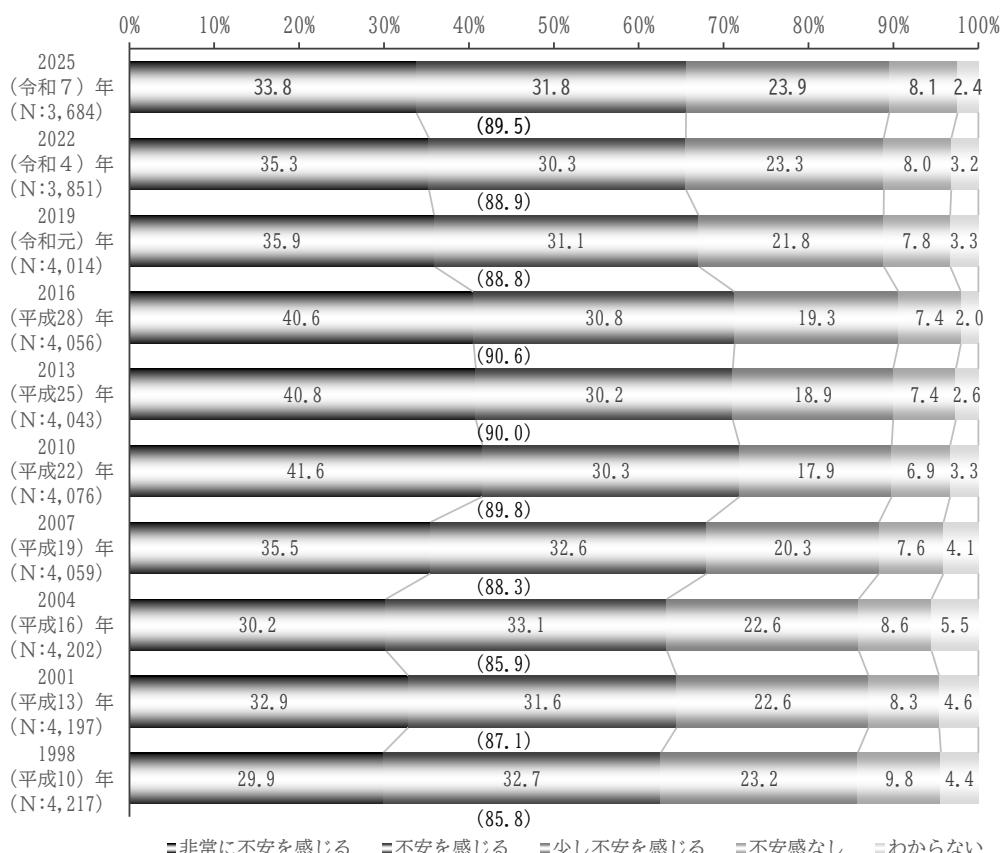
- (ア) 非常に不安を感じる
(イ) 不安を感じる
(ウ) 少し不安を感じる
(エ) 不安を感じない以下「不安感なし」
わからない

その結果、「不安感あり」(上記の選択肢で(ア)～(ウ)のいずれかに回答した人の合計)は89.3%、「不安感なし」は8.5%となっている。

前回と比較すると、「不安を感じる」が2.2ポイント増加している。(図表V-1)



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



■非常に不安を感じる ■不安を感じる ■少し不安を感じる ■不安感なし ■わからない

*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「不安感あり」は女性（91.3%）が男性（86.8%）を4.5ポイント上回っており、なかでも“非常に不安を感じる”で高くなっている。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも50歳代で高くなっている。（図表V-2）

<図表 V-2> 自分の介護に対する不安の有無 [性・年齢別]

(単位: %)

	N						不安感なし	わからない
		非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安感あり			
男 性	2,101	28.1	32.8	25.8	86.8	10.6	2.6	
20 歳代	181	22.1	26.5	28.2	76.8▲	13.3	9.9	
30 歳代	225	30.2	34.2	21.8	86.2	11.6	2.2	
40 歳代	363	31.1	31.1	25.6	87.9	10.2	1.9	
50 歳代	406	32.8	35.0	23.6	91.4	6.7▲	2.0	
60 歳代	404	25.5	33.7	28.7	87.9	11.1	1.0▲	
70 歳代	485	26.2	34.0	26.8	87.0	11.3	1.6	
女 性	2,736	35.9	32.2	23.2	91.3	6.9	1.8	
20 歳代	165	26.7▲	32.1	23.6	82.4▲	12.7	4.8	
30 歳代	282	36.5	32.3	18.1▲	86.9▲	10.6	2.5	
40 歳代	438	39.5	29.5	24.7	93.6	4.6▲	1.8	
50 歳代	576	43.1	30.0	22.0	95.1	3.5▲	1.4	
60 歳代	579	35.8	33.3	23.7	92.7	5.7	1.6	
70 歳代	668	30.1▲	34.9	24.9	89.8	9.0	1.2	

(2) 自分の介護に対する不安の内容

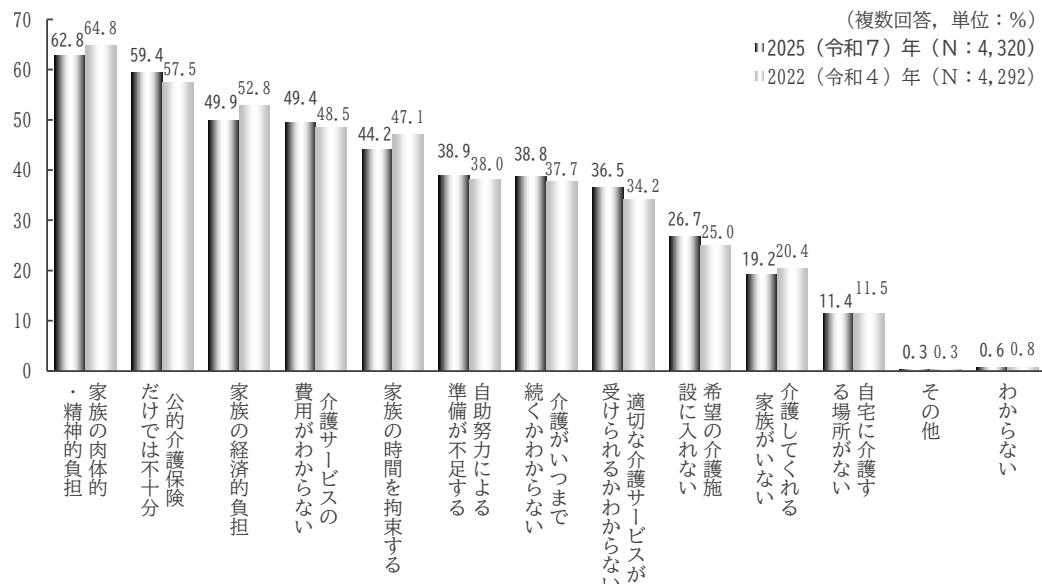
次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

- 具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。
- (ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと以下「公的介護保険だけでは不十分」
 (イ) 自助努力による経済的準備が不足すること以下「自助努力による準備が不足する」
 (ウ) 受けようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと以下「介護サービスの費用がわからない」
 (エ) 介護をしてくれる家族がいないこと以下「介護をしてくれる家族がいない」
 (オ) 家族に肉体的・精神的な負担をかけること以下「家族の肉体的・精神的負担」
 (カ) 家族に経済的な負担をかけること以下「家族の経済的負担」
 (キ) 家族の時間を拘束すること以下「家族の時間を拘束する」
 (ク) 自宅に介護をする場所がないこと以下「自宅に介護する場所がない」
 (ケ) 希望する介護施設に入れないこと以下「希望の介護施設に入れない」
 (コ) 適切な介護サービスが受けられるかどうかわからないこと以下「適切な介護サービスが受けられるかわからない」
 (サ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと以下「介護がいつまで続くかわからない」
 (シ) その他
 わからない

その結果、「家族の肉体的・精神的負担」が 62.8%と最も高く、以下「公的介護保険だけでは不十分」(59.4%)、「家族の経済的負担」(49.9%)、「介護サービスの費用がわからない」(49.4%) の順となっている。

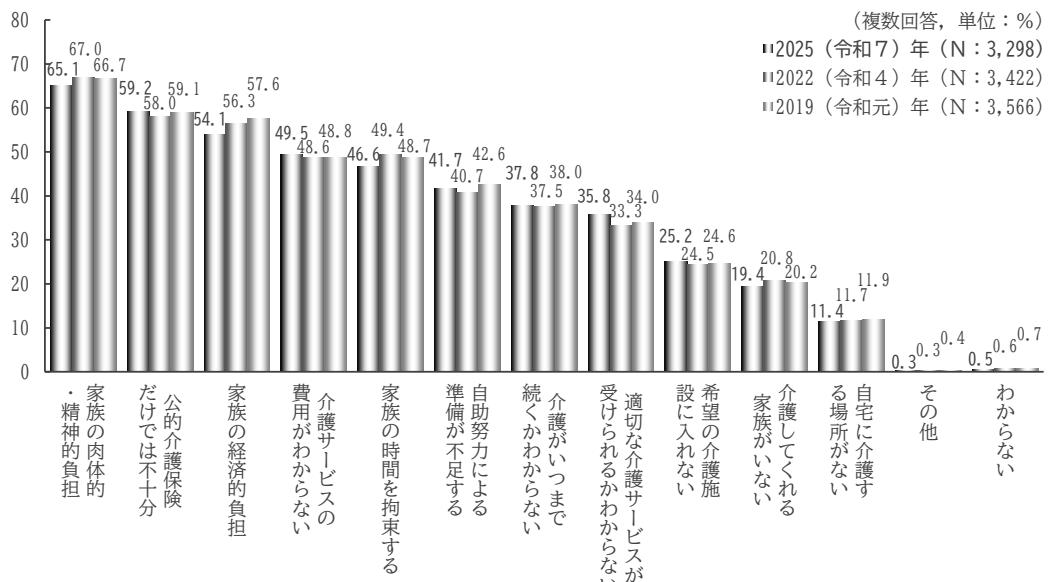
前回と比較すると、「家族の経済的負担」、「家族の時間を拘束する」がいずれも 2.9 ポイント減少し、「適切な介護サービスが受けられるかわからない」が 2.3 ポイント増加している。(図表V-3)

図表 V-3 自分の介護に対する不安の内容



*集計対象は18~79歳

【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「家族の肉体的・精神的負担」、「公的介護保険だけでは不十分」など8項目で、男性より女性の方が高く、特に「家族の肉体的・精神的負担」では女性が66.5%と男性（57.9%）を8.6ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険だけでは不十分」は女性50歳代で、「家族の経済的負担」は男性40歳代、女性30～50歳代で、それぞれ高くなっている。また、「自助努力による準備が不足する」は男性50歳代、女性40～50歳代で高くなっている。（図表V-4）

<図表 V-4> 自分の介護に対する不安の内容【性・年齢別】

		(複数回答、単位：%)														
		担 家 族 の 肉 体 的 ・ 精 神 的 負 担	十 公 的 介 護 保 険 だ け で 不 足	家 族 の 絏 済 的 負 担	か 介 護 な い サ ー ビ s の 費 用 が わ か ぬ	家 族 の 時 間 を 拘 束 す る	足 す る 自 助 努 力 に よ る 准 備 が 不 足	か 介 護 な い サ ー ビ s が 不 足	か 介 護 な い サ ー ビ s が 不 足	け 適 切 な 介 護 サ ー ビ s が 不 足	い 希 望 の 介 護 施 設 入 れ な い	な い 介 護 し て く れ る 家 族 が い	い 介 護 し て く れ る 家 族 が い	自 宅 に 介 護 す る 場 所 が な い	そ の 他	わ か ら な い
	N															
男 性	1,823	57.9	57.4	47.0	47.3	41.9	39.1	35.0	31.9	22.3	19.5	11.6	0.3	0.7		
20歳代	139	58.3	45.3▲	53.2	42.4	46.0	41.7	30.9	22.3▲	13.7▲	23.7	12.2	0.0	0.7		
30歳代	194	61.9	52.6	49.0	51.0	44.8	42.8	28.9	24.2▲	14.4▲	18.0	8.2	0.0	0.0		
40歳代	319	(64.3)	56.4	(58.0)	50.2	(50.5)	42.9	35.1	28.5	21.3	21.0	10.0	0.0	0.3		
50歳代	371	52.6▲	59.3	49.1	47.4	41.5	(43.9)	29.9▲	31.8	22.4	(23.5)	14.3	(0.8)	0.3		
60歳代	355	61.4	60.6	43.4	47.9	39.4	36.1	(40.6)	(38.6)	25.9	17.7	11.3	0.0	1.1		
70歳代	422	51.9▲	61.4	36.5▲	45.0	35.3▲	32.0▲	(39.6)	35.8	(26.5)	16.6	11.8	0.5	(1.4)		
女 性	2,497	66.5	60.9	52.1	50.9	45.9	38.7	41.5	39.9	30.0	19.0	11.3	0.3	0.6		
20歳代	136	64.0	55.1	53.7	41.9▲	43.4	41.9	33.1▲	27.9▲	15.4▲	16.2	4.4▲	0.7	1.5		
30歳代	245	68.2	58.0	(59.2)	51.0	49.0	43.3	37.1	31.0▲	21.6▲	19.2	11.8	0.0	1.2		
40歳代	410	(74.9)	57.8	(64.1)	51.2	(54.1)	(43.2)	36.6▲	34.9▲	26.3	14.9▲	12.2	0.2	0.5		
50歳代	548	(70.3)	(66.1)	(57.5)	50.9	47.3	(45.1)	44.2	42.3	32.3	(22.1)	12.8	0.4	0.4		
60歳代	537	65.7	64.1	50.8	52.1	46.9	37.8	(45.3)	(48.0)	32.8	18.4	11.0	0.6	0.2		
70歳代	600	58.3▲	59.2	36.5▲	52.0	37.3▲	28.2▲	43.5	41.0	(35.2)	20.0	11.2	0.2	0.7		

(3) 親などを介護する場合の不安の有無

ここでは、将来親や親族などを介護する立場になった場合の不安の有無と程度を捉えるため、以下のように尋ねた。

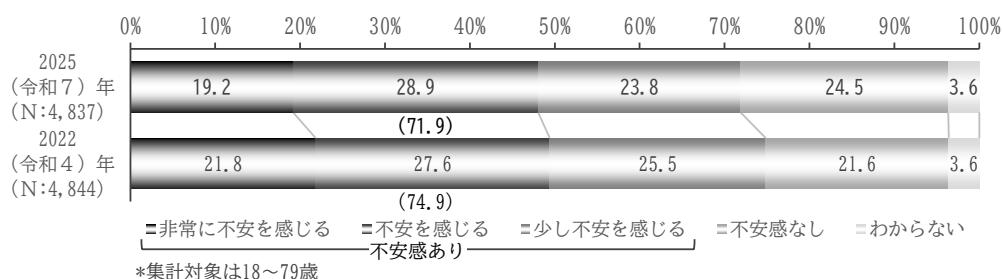
あなたは、将来ご自身が、親や親族などを介護する立場になった場合の生活について、どの程度不安を感じますか。

- (ア) 非常に不安を感じる
- (イ) 不安を感じる
- (ウ) 少し不安を感じる
- (エ) 不安を感じない…………以下「不安感なし」
わからない

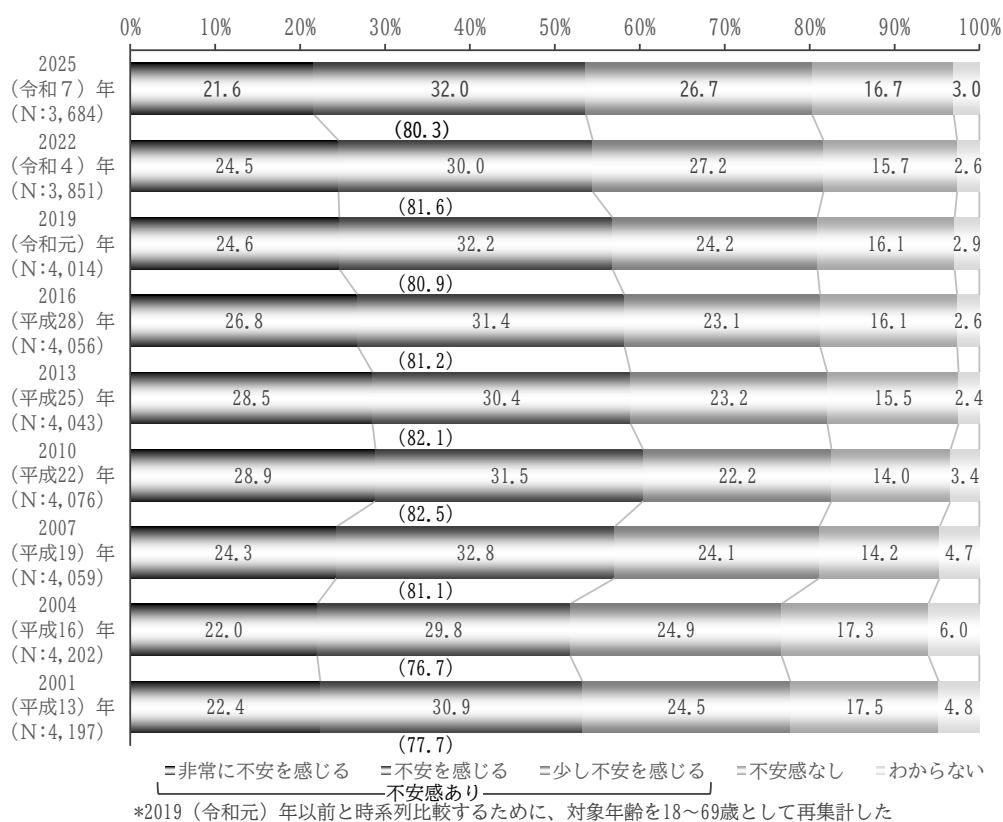
その結果、「不安感あり」（上記の選択肢で（ア）～（ウ）のいずれかに回答した人の合計）は71.9%となっており、「自分の介護に対し、『不安感あり』」（177ページ）と答えた割合（89.3%）を17.4ポイント下回っている。

前回と比較すると、「不安感あり」が3.0ポイント減少し、「不安感なし」が2.9ポイント増加している。（図表V-5）

<図表 V-5> 親などを介護する場合の不安の有無



【参考】時系列でみると、「非常に不安を感じる」は2010（平成22）年以降、減少傾向が続いている。



性別にみても、大きな差異はみられない。

性・年齢別にみると、「不安感あり」は男女とも20~50歳代で高くなっている。(図表V-6)

<図表 V-6> 親などを介護する場合の不安の有無 [性・年齢別]

(単位: %)

	N	非常に不安を感じる	不安を感じる	少し不安を感じる	不安感あり	不安感なし	わからない
		男性	2,101	17.9	29.6	23.2	70.7
20歳代	181	20.4	(38.7)	22.7	(81.8)	9.4▲	(8.8)
30歳代	225	22.2	(39.6)	25.3	(87.1)	9.3▲	3.6
40歳代	363	(22.0)	30.9	(30.6)	(83.5)	13.2▲	3.3
50歳代	406	(23.9)	33.5	25.1	(82.5)	15.8▲	1.7▲
60歳代	404	10.9▲	28.7	24.8	64.4▲	(32.2)	3.5
70歳代	485	13.0▲	17.7▲	13.8▲	44.5▲	(50.3)	5.2
女性	2,736	20.1	28.3	24.3	72.8	23.9	3.4
20歳代	165	23.0	33.9	26.7	(83.6)	13.9▲	2.4
30歳代	282	(25.2)	(35.5)	28.7	(89.4)	9.2▲	1.4
40歳代	438	(26.7)	(32.4)	(31.7)	(90.9)	8.4▲	0.7▲
50歳代	576	(27.3)	29.5	(28.1)	(84.9)	13.4▲	1.7▲
60歳代	579	16.1▲	28.8	22.1	67.0▲	(27.8)	(5.2)
70歳代	668	10.2▲	19.6▲	15.6▲	45.4▲	(48.7)	(6.0)

(4) 親などを介護する場合の不安の内容

次に、不安意識がある人の具体的な不安の内容を捉えるため、以下のように尋ねた。

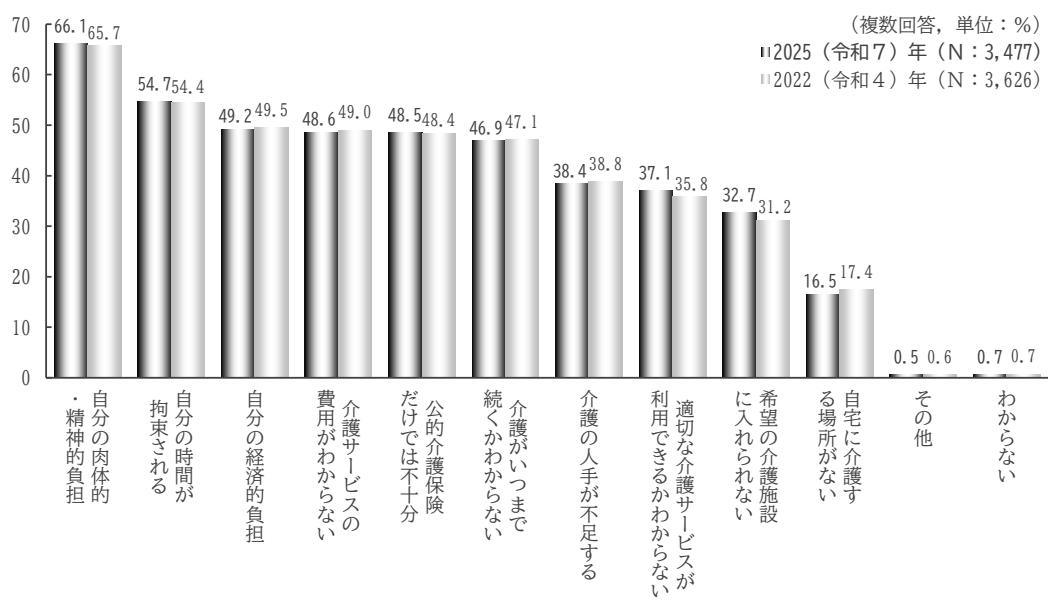
- 具体的にどのようなことを不安に思っていますか。この中からいくつでもお答えください。
- (ア) 公的介護保険だけでは不十分なこと 以下「公的介護保険だけでは不十分」
 (イ) 利用しようとする介護サービスの費用がいくらかかるのかわからないこと 以下「介護サービスの費用がわからない」
 (ウ) 介護のための人手が不足すること 以下「介護の人手が不足する」
 (エ) 自分に肉体的・精神的な負担がかかること 以下「自分の肉体的・精神的負担」
 (オ) 自分に経済的な負担がかかること 以下「自分の経済的負担」
 (カ) 自分の時間が拘束されること 以下「自分の時間が拘束される」
 (キ) 自宅に介護をする場所がないこと 以下「自宅に介護する場所がない」
 (ク) 希望する介護施設に入れることができないこと 以下「希望の介護施設に入れられない」
 (ケ) 適切な介護サービスを利用できるかどうかわからないこと 以下「適切な介護サービスが利用できるかわからない」
 (コ) 介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しが立てにくいこと 以下「介護がいつまで続くかわからない」
 (サ) その他
 わからない

その結果、「自分の肉体的・精神的負担」が 66.1%と最も高く、以下「自分の時間が拘束される」(54.7%)、「自分の経済的負担」(49.2%)、「介護サービスの費用がわからない」(48.6%)の順となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。

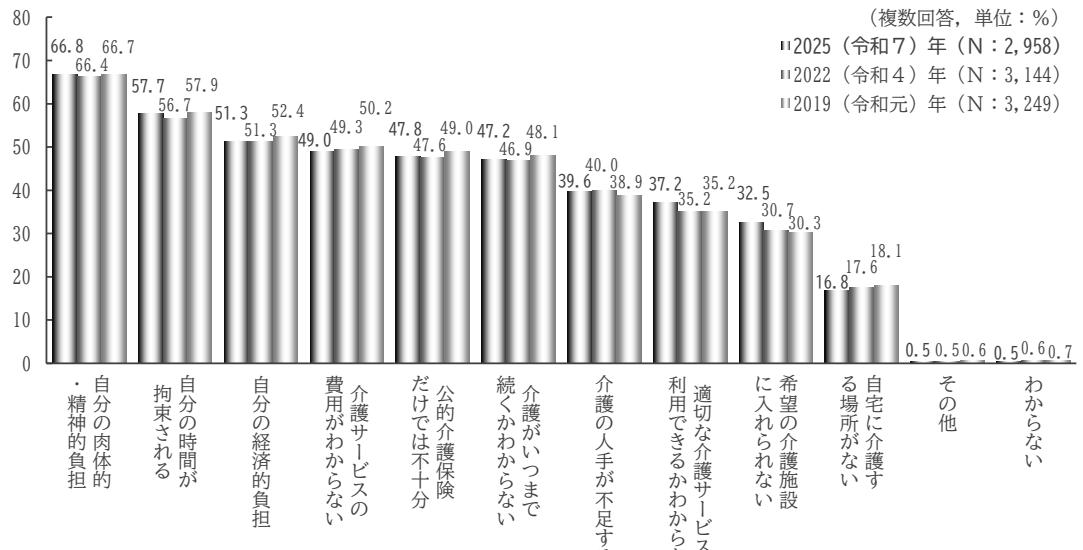
また、「自分の介護に対する不安の内容」(179 ページ) と比べると、「介護の人手が不足する（介護してくれる家族がいない）」、「介護がいつまで続くかわからない」、「自分の時間が拘束される（家族の時間を拘束する）」が特に高く、介護の担い手や時間的要素の不安意識が高くなる傾向がみられる。逆に「公的介護保険だけでは不十分」、「自分の経済的負担（家族の経済的負担）」では不安意識が低くなっている。(図表V-7)

<図表 V-7> 親などを介護する場合の不安の内容



*集計対象は18~79歳

【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019 (令和元) 年以前と時系列比較するために、対象年齢を18~69歳として再集計した

性別にみると、「自分の肉体的・精神的負担」、「自分の時間が拘束される」、「介護がいつまで続くかわからない」等5項目で、女性が男性を上回っている。また「自分の経済的負担」で男性が高くなっている。

性・年齢別にみると、男性 40~50 歳代、女性 30~50 歳代で「自分の時間が拘束される」が高く、男性 40 歳代、女性 50 歳代では「自分の肉体的・精神的負担」も高い。また、男性 20 歳代、女性 40 歳代では「自分の経済的負担」が高くなっている。(図表V-8)

<図表 V-8> 親などを介護する場合の不安の内容 [性・年齢別]

		(複数回答、単位: %)													
	N	担 自 分 の 肉 体 的 ・ 精 神 的 負 担	自 分 の 時 間 が 拘 束 さ れ る	自 分 の 經 済 的 負 担	か 介 護 な い さ ー ビ ス の 費 用 が わ わ	十 公 的 介 護 保 険 だ け で 不 足 し ま せ ん	介 護 が い つ ま で 続 く か わ わ	介 護 の 人 手 が 不 足 す る	用 適 切 な 介 護 サ ー ビ ス が わ か ら な い が 利	れ 希 望 の 介 護 施 設 に 入 れ ら	い 自 宅 に 介 護 す る 場 所 が な	そ の 他	わ か ら な い		
男 性	1,486	61.0	52.2	51.5	48.7	49.4	42.7	38.7	34.0	29.7	17.0	0.7	0.9		
20 歳代	148	58.8	54.1	61.5	48.0	40.5▲	40.5	37.2	26.4▲	25.0	22.3	0.0	1.4		
30 歳代	196	60.2	58.2	50.0	50.0	40.8▲	37.2	35.7	25.5▲	22.4▲	17.3	1.5	1.5		
40 歳代	303	66.7	59.7	56.4	47.9	42.9▲	48.2	45.2	39.3	30.4	17.8	0.0	0.0		
50 歳代	335	61.2	58.8	55.2	52.5	57.3	39.1	46.3	34.6	31.0	17.0	0.9	0.6		
60 歳代	260	58.1	43.1▲	45.8▲	43.5	52.7	45.4	32.3▲	38.1	34.2	13.8	0.8	0.8		
70 歳代	216	58.8	34.3▲	39.8▲	48.6	57.4	45.8	30.6▲	34.3	32.9	16.2	1.4	1.9		
女 性	1,991	70.0	56.5	47.5	48.5	47.9	50.1	38.2	39.4	35.0	16.1	0.4	0.5		
20 歳代	138	70.3	51.4	50.0	53.6	41.3	49.3	31.9	36.2	26.8▲	13.8	0.0	1.4		
30 歳代	252	70.6	65.9	53.2	52.4	40.5▲	50.4	32.5▲	38.9	31.3	16.7	0.4	0.0		
40 歳代	398	69.8	62.1	52.8	49.5	48.0	49.5	40.5	37.4	32.2	19.1	0.5	0.3		
50 歳代	489	74.6	61.8	51.1	49.3	52.1	53.6	43.8	41.9	36.6	17.0	0.2	0.4		
60 歳代	388	68.3	53.6	42.5▲	44.8	49.7	51.8	41.0	41.8	41.2	15.2	0.8	0.5		
70 歳代	303	65.3	39.9▲	35.6▲	44.9	49.8	45.5	32.3▲	37.6	34.7	13.2	0.3	1.0		

2. 自分の介護に対する意識

ここでは、自分自身が要介護状態になった場合に、在宅介護と施設介護のどちらを望んでいるのか、また、その選択理由について捉えている。

(1) 自分が介護してもらいたい場所

将来自分自身が要介護状態になった場合に、どのような場所で介護してもらいたいと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

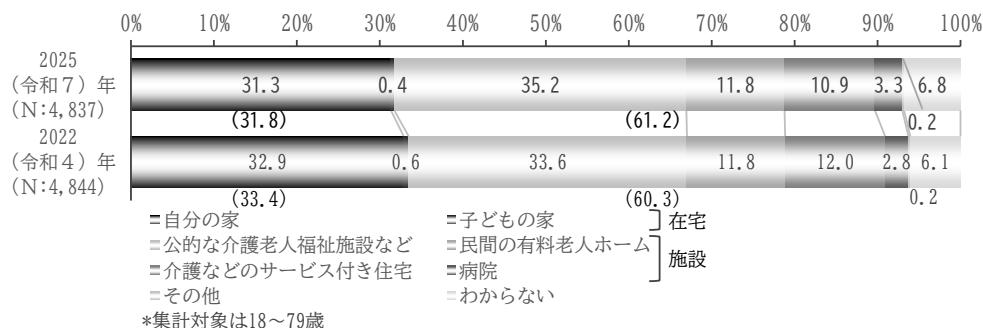
あなたは、仮にご自身が将来介護を受ける状態になった場合に、どのような場所で介護をしてもらいたいとお考えでしょうか。この中から1つだけお答えください。

- (ア) 自分の家
- (イ) 子どもの家
- (ウ) 国や県などの公的な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）や介護老人保健施設など
.....以下「公的な介護老人福祉施設など」
- (エ) 民間の有料老人ホーム
- (オ) 介護などのサービス付き住宅（シルバーマンションなど）
- (カ) 病院
- (キ) その他
わからない

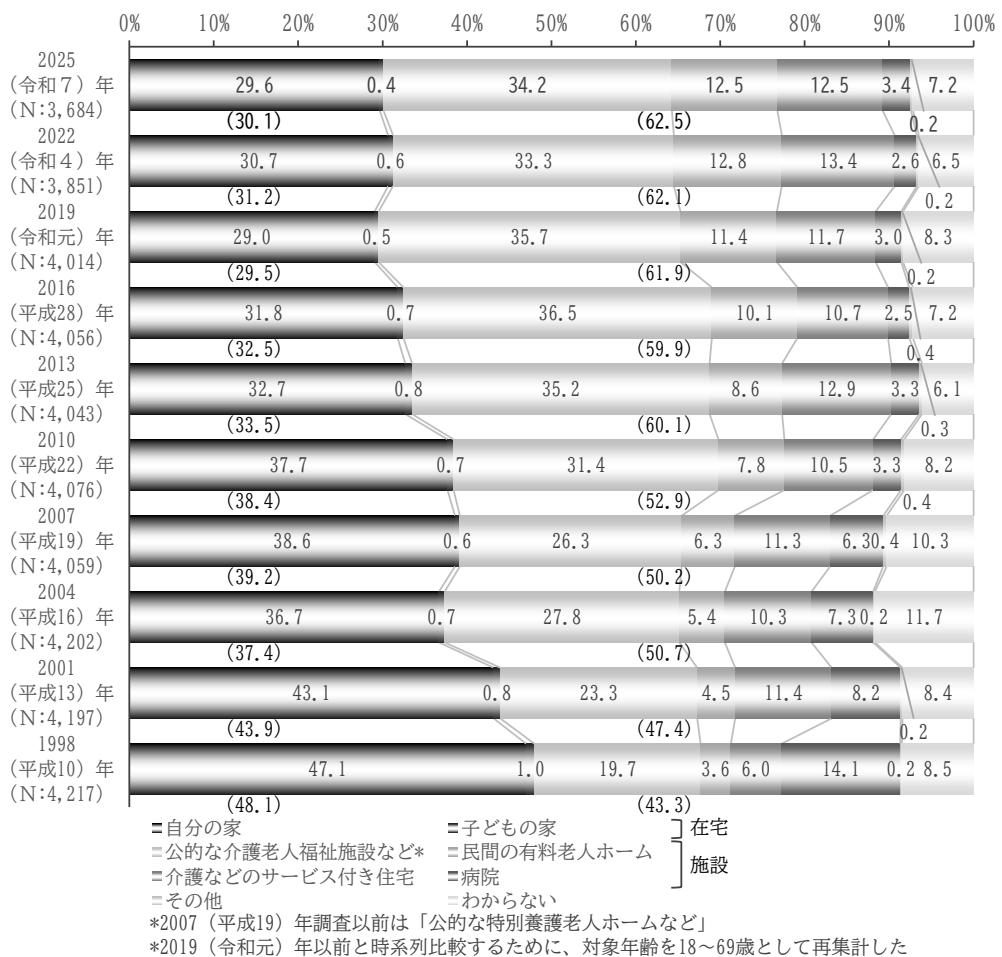
その結果、「公的な介護老人福祉施設など」が35.2%と最も高く、次いで「自分の家」(31.3%)、「民間の有料老人ホーム」(11.8%)となっている。また、「在宅」は31.8%、「施設」は61.2%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。(図表V-9)

<図表 V-9> 自分が介護してもらいたい場所



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「在宅」は男性の方が高く、「施設」は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「自分の家」、「公的介護老人福祉施設など」は70歳代で、「民間の有料老人ホーム」は30歳代で、「介護などのサービス付き住宅」は30~50歳代で、それぞれ高くなっている。(図表V-10)

<図表 V-10> 自分が介護してもらいたい場所 [性別、年齢別]

		N	在		施設						その他	わから	
性別	年齢		自 分 の 家	子 ど も の 家	福 祉 施 設 な ど	介 護 な ど	有 料 老 人	介 護 付 な き 住 宅 サ ー	病 院	60 歳 代	65 歳 代		
全	体	4,837	31.3	0.4	31.8	35.2	11.8	10.9	3.3	61.2	0.2	6.8	
性	男	2,101	(37.1)	0.4	(37.5)	30.7▲	(12.9)	7.5▲	3.3	54.5▲	0.3	(7.7)	
別	女	2,736	26.9▲	0.4	27.3▲	(38.6)	11.0▲	(13.5)	3.3	(66.4)	0.1	6.2▲	
年	20歳代	346	28.6	0.3	28.9	31.8	14.5	11.0	2.0	59.2	0.6	(11.3)	
齢	30歳代	507	26.8▲	0.8	27.6▲	27.4▲	(19.1)	(15.2)	2.8	64.5	0.4	7.5	
40歳代	801	29.0	0.1	29.1	33.8	12.9	(13.9)	4.1	(64.7)	0.0	6.2		
50歳代	982	30.4	0.4	30.9	37.1	9.7▲	(12.9)	2.9	62.5	0.4	6.2		
60歳代	983	31.1	0.5	31.6	36.7	10.6	10.5	3.9	61.6	0.1	6.6		
70歳代	1,153	(36.7)	0.4	(37.1)	(38.4)	9.8▲	5.9▲	3.0	57.2▲	0.1	5.6		

本人職業別にみると、「在宅」は商工サービス業で、「施設」は大企業被用者で、それぞれ高くなっている。

金融資産別にみると、「公的な介護老人福祉施設など」は500万円未満の層で高く、「民間の有料老人ホーム」や「介護などのサービス付き住宅」は2,000万円以上の層で高くなっている。

住居種類別にみると、「在宅」は持家・ローンなしで、「施設」は借家で高くなっている。

市郡規模別にみると、「在宅」は小都市で高く、「施設」は中都市で高くなっている。(図表V-11)

<図表 V-11> 自分が介護してもらいたい場所 [本人職業別、金融資産別、住居種類別、市郡規模別]

		N	在宅		施設					その他	わからない	
自分の家	子どもの家				福祉的施設介護など老人	公的施設介護など老人	民間の有料老人	ビス介護など住の宅サ	病院			
全 体	4,837	31.3	0.4	31.8	35.2	11.8	10.9	3.3	61.2	0.2	6.8	
本人職業	自 営 者	500	(36.6)	0.4	(37.0)	30.8▲	12.6	11.6	2.6	57.6	0.2	5.2
	農 林 漁 業	69	33.3	0.0	33.3	42.0	8.7	2.9▲	5.8	59.4	(1.4)	5.8
	商 工 サ ー ビ ス 業	367	(37.3)	0.5	(37.9)	29.4▲	13.1	12.5	2.5	57.5	0.0	4.6
	常 雇 被 用 者	1,758	27.8▲	0.6	28.4▲	34.1	(14.8)	(12.3)	3.1	(64.3)	0.3	6.9
	公 務 員	192	22.9▲	0.5	23.4▲	35.9	15.6	14.6	1.0	67.2	(1.0)	8.3
	民 間 企 業 被 用 者	1,566	28.4▲	0.6	29.1▲	33.8	(14.8)	12.1	3.3	(64.0)	0.2	6.8
	小 企 業 被 用 者	331	30.2	0.6	30.8	35.3	13.3	11.2	2.4	62.2	0.0	6.9
	中 企 業 被 用 者	773	28.3	0.6	29.0	34.5	13.3	11.5	3.5	62.9	0.3	7.9
	大 企 業 被 用 者	408	27.9	0.7	28.7	29.7▲	(18.4)	(14.2)	3.9	(66.2)	0.2	4.9
	非 正 規 社 員	931	29.6	0.4	30.1	(39.3)	8.2▲	11.3	3.9	62.6	0.1	7.2
金融資産	無 職	1,474	(34.8)	0.3	(35.1)	36.4	9.7▲	9.0▲	3.5	58.5▲	0.2	6.2
	100 万 円 未 満	406	31.0	0.5	31.5	(39.9)	5.9▲	8.9	(5.2)	59.9	0.5	8.1
	100 ~ 500 万 円 未 満	739	32.3	0.1	32.5	(39.8)	11.1	9.3	3.1	63.3	(0.5)	3.7▲
	500 ~ 1,000 万 円 未 満	416	31.7	1.0	32.7	37.5	11.1	13.2	1.4▲	63.2	0.2	3.8▲
	1,000 ~ 2,000 万 円 未 満	337	33.8	0.0	33.8	35.6	13.4	12.5	2.4	63.8	0.0	2.4▲
	2,000 万 円 以 上	449	31.8	0.2	32.1	27.6▲	(18.5)	(14.3)	1.6▲	61.9	0.2	5.8
住居種類	持 家	3,857	(32.5)	0.4	(33.0)	34.6	(12.3)	10.8	2.8▲	60.6	0.2	6.3▲
	持家・ローンあり	1,475	31.3	0.4	31.7	33.9	(14.6)	11.7	2.5▲	62.7	0.3	5.4▲
	持家・ローンなし	1,817	(34.3)	0.4	(34.7)	35.2	10.8	9.9	2.9	58.8▲	0.1	6.4
	持家・夫婦以外名義	565	30.1	0.5	30.6	34.5	11.3	11.7	3.2	60.7	0.0	8.7
	借 家	918	26.9▲	0.4	27.3▲	(38.6)	9.5▲	10.9	(5.2)	(64.2)	0.4	8.1
	賃 貸 住 宅	875	27.4▲	0.5	27.9▲	(39.1)	9.3▲	10.5	(5.3)	64.1	0.5	7.5
市郡規模	社 宅	43	16.3▲	0.0	16.3▲	27.9	14.0	18.6	4.7	65.1	0.0	(18.6)
	大 都 市	1,487	32.0	0.4	32.4	34.4	12.0	11.8	3.6	61.7	0.3	5.6▲
	中 都 市	1,954	29.0▲	0.5	29.5▲	35.8	12.8	11.3	3.3	(63.2)	0.2	7.1
	小 都 市	998	(34.3)	0.3	(34.6)	35.9	9.6▲	9.2	2.9	57.6▲	0.3	7.5
	郡 部	398	32.7	0.5	33.2	33.7	12.3	9.5	3.0	58.5	0.0	8.3

3. 公的介護保険に対する意識

本節では、公的介護保険制度に対する評価などを捉え、人々の意識を明らかにしている。

(1) 公的介護保険に対する考え方

自分が将来要介護状態になった場合に、介護費用が公的介護保険でまかなえると考えているのかどうかを捉えるため、以下のように尋ねた。

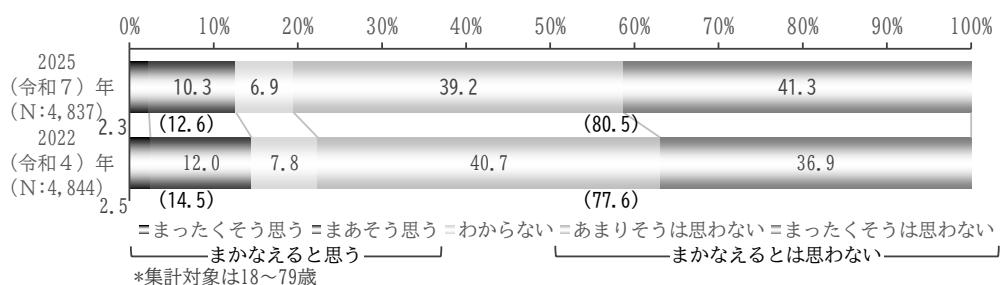
自分が将来寝たきりや認知症になった場合の費用は、公的介護保険で大部分まかなえる

- (ア) まったくそう思う
- (イ) まあそう思う
- (ウ) あまりそうは思わない
- (エ) まったくそうは思わない
わからない

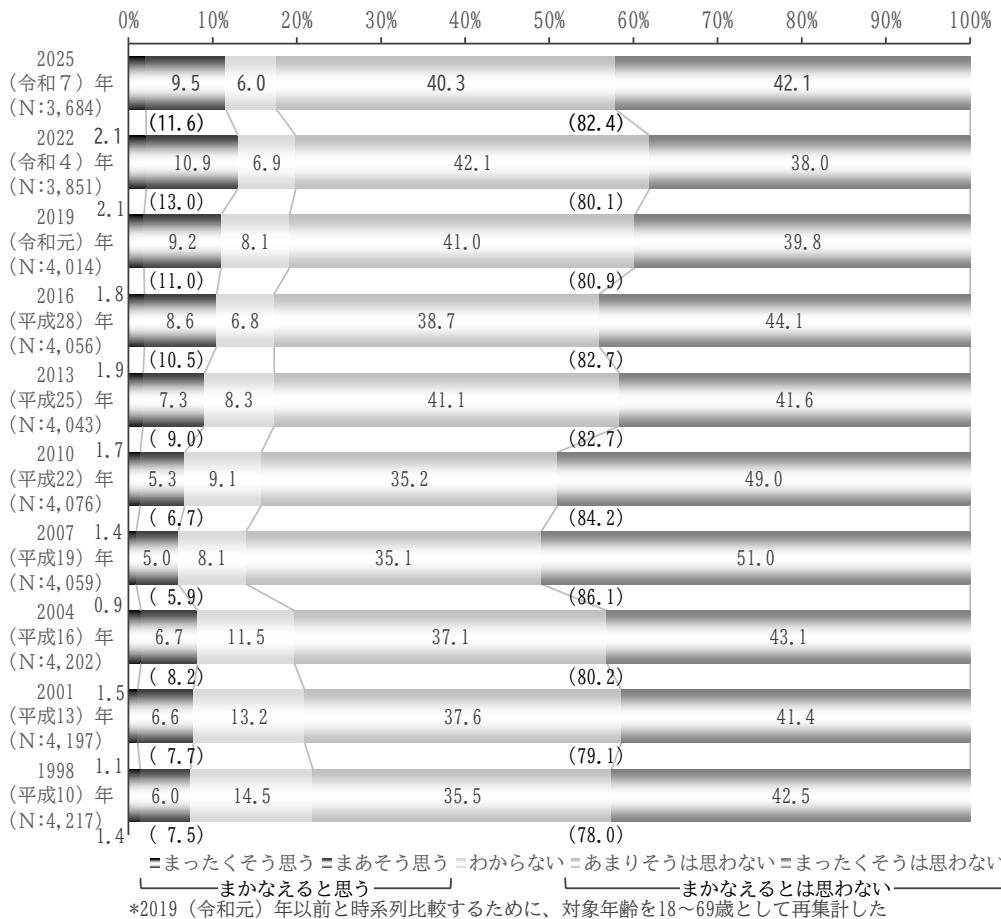
その結果、「まかなえると思う」（「まったくそう思う」と「まあそう思う」と回答した人の合計）は 12.6%、「まかなえるとは思わない」（「あまりそうは思わない」と「まったくそうは思わない」と回答した人の合計）は 80.5%となっており、8割以上の人人が公的介護保険だけではまかなえないと考えている。

前回と比較すると、「まかなえるとは思わない」が 2.9 ポイント増加し、「まかなえると思う」が 1.9 ポイント減少している。（図表V-12）

図表 V-12> 公的介護保険に対する考え方



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「まかなえるとは思わない」は女性（83.1%）が男性（77.1%）を6.0ポイント上回り、「まかなえると思う」は男性（15.1%）が女性（10.7%）を4.4ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「まかなえるとは思わない」は男女とも30～50歳代で高くなっている。（図表V-13）

図表 V-13> 公的介護保険に対する考え方 [性・年齢別]

		(単位: %)							
	N	まったく そう思う	まあ そう思う	まかなえる と思う	わから ない	まかなえる とは 思わない	あま り そ う は 思 わ な い	ま た く そ う は 思 わ な い	
男 性	2,101	3.0	12.1	15.1	7.8	77.1	40.2	36.9	
20歳代	181	2.2	16.6	18.8	8.8	72.4	43.6	28.7▲	
30歳代	225	0.4▲	9.8	10.2▲	5.3	84.4	47.1	37.3	
40歳代	363	3.0	10.5	13.5	4.7▲	81.8	43.0	38.8	
50歳代	406	3.0	10.3	13.3	4.9▲	81.8	41.6	40.1	
60歳代	404	3.5	12.4	15.8	7.9	76.2	39.1	37.1	
70歳代	485	3.7	13.8	17.5	12.6	69.9▲	33.6▲	36.3	
女 性	2,736	1.8	8.9	10.7	6.1	83.1	38.4	44.7	
20歳代	165	1.8	13.3	15.2	13.3	71.5▲	38.2	33.3▲	
30歳代	282	1.4	5.0▲	6.4▲	5.0	88.7	42.6	46.1	
40歳代	438	0.5▲	8.0	8.4	4.3	87.2	39.0	48.2	
50歳代	576	2.3	6.6▲	8.9	3.8▲	87.3	36.3	51.0	
60歳代	579	1.7	8.6	10.4	6.0	83.6	39.0	44.6	
70歳代	668	2.7	12.1	14.8	7.3	77.8▲	37.3	40.6▲	

(2) 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か

自分自身が要介護状態になった場合の準備は、公的保障の充実を志向しているのか、自助努力を志向しているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

ここに、自分が寝たきりや認知症になり、介護が必要になったときの備えについて、A、B 2つの考え方があげられています。あなたのお考えは、A、Bどちらの考え方方に近いでしょうか。

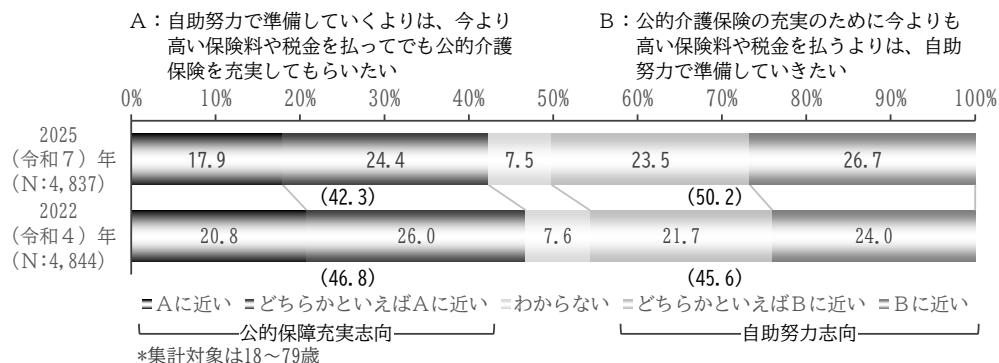
A：自助努力で準備していくよりは、今より高い保険料や税金を払ってでも公的介護保険を充実してもらいたい
B：公的介護保険の充実のために今よりも高い保険料や税金を払うよりは、自助努力で準備していきたい

- (ア) Aに近い
- (イ) どちらかといえばAに近い
- (ウ) どちらかといえばBに近い
- (エ) Bに近い
- わからない

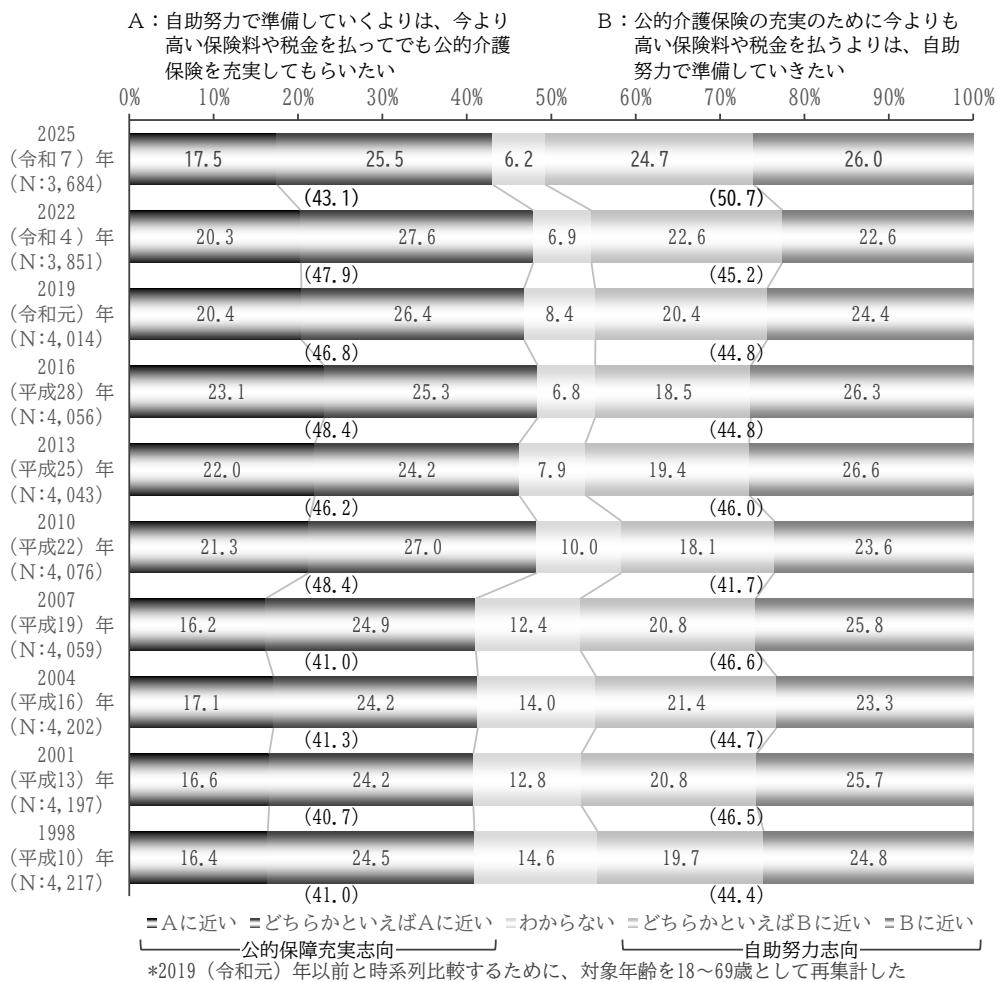
その結果、「公的保障充実志向」（“Aに近い”と“どちらかといえばAに近い”と回答した人の合計）は42.3%、「自助努力志向」（“どちらかといえばBに近い”と“Bに近い”と回答した人の合計）は50.2%と「自助努力志向」が多くなっている。

前回と比較すると、「自助努力志向」が4.6 ポイント増加し、「公的保障充実志向」が4.5 ポイント減少している。（図表V-14）

図表 V-14 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「公的保障充実志向」は男性で44.0%と女性（41.0%）を3.0ポイント上回って高くなっている。

性・年齢別にみると、「公的保障充実志向」は女性50歳代で、「自助努力志向」は男性40歳代、女性30歳代で高くなっている。（図表V-15）

<図表 V-15> 介護保障は公的保障充実志向か自助努力志向か [性・年齢別]

	N	(単位: %)						
		Aに近い	どちらかと いえば Aに近い	公的保障 充実志向	わからない	自助努力 志向	どちらかと いえば Bに近い	Bに近い
男 性	2,101	18.5	25.5	44.0	6.4	49.6	22.4	27.3
20歳代	181	18.2	30.9	49.2	6.1	44.8	19.9	24.9
30歳代	225	15.6	25.8	41.3	6.7	52.0	29.8	22.2
40歳代	363	16.5	25.1	41.6	2.5▲	55.9	25.1	30.9
50歳代	406	18.5	27.1	45.6	5.9	48.5	21.9	26.6
60歳代	404	20.3	23.5	43.8	5.2	51.0	22.0	29.0
70歳代	485	19.6	23.1	42.7	10.1	47.2	19.0▲	28.2
女 性	2,736	17.5	23.5	41.0	8.4	50.6	24.4	26.2
20歳代	165	11.5▲	35.8	47.3	5.5	47.3	29.7	17.6▲
30歳代	282	16.3	20.9	37.2	6.4	56.4	31.2	25.2
40歳代	438	18.3	23.3	41.6	5.7▲	52.7	28.5	24.2
50歳代	576	17.0	27.8	44.8	6.3▲	49.0	22.6	26.4
60歳代	579	17.6	22.5	40.1	9.3	50.6	23.5	27.1
70歳代	668	19.0	18.9▲	37.9	12.6	49.6	20.2▲	29.3

4. 介護保障に対する私的準備状況

自分自身が要介護状態になった場合に備えて、どのような手段で経済的な準備をしているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたのご家庭では、あなたご自身が介護を受ける状態になった場合に備えて、現在経済的な準備をしていますか。この中に準備しているものがあれば、いくつでもお答えください。

- (ア) 民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
- (イ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
- (ウ) 預貯金
- (エ) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
- (オ) その他
- (カ) 特別な準備はしていない……………以下「準備していない」
- わからない

その結果、「準備している」（上記の選択肢で（ア）～（オ）のいずれかに回答した人）は 57.3%、「準備していない」は 39.3%と、6割近くが何らかの準備をしている。他の保障領域の「準備している」[医療保障（83.9%）、老後保障（70.8%）、死亡保障（74.8%）]と比較すると、準備割合は低く、最も準備が進んでいない保障領域といえる。

具体的な準備手段をみると、「預貯金」が 44.0%と最も高く、次いで「生命保険」（28.4%）となっている。

前回と比較すると、「預貯金」が 3.4 ポイント、「有価証券」が 2.4 ポイント増加した結果、「準備している」も 3.8 ポイント増加している。（図表 V-16）

<図表 V-16> 介護保障に対する私的準備状況

（複数回答、単位：%）

N	2025 (令和7) 年	介護保障に対する私的準備状況							
		生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
4,837	28.4	8.4	44.0	9.5	0.3	57.3	39.3	3.3	
4,844	28.0	8.7	40.6	7.1	0.2	53.5	43.0	3.4	

*集計対象は18～79歳

【参考】時系列でみると、2010（平成22）年以降、「準備している」の増加傾向が続いている。

	N	(複数回答, 単位: %)							
		生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
2025 (令和7) 年	3,684	29.5	8.6	40.4	9.2	0.2	55.1	41.6	3.3
2022 (令和4) 年	3,851	28.2	8.6	37.1	6.9	0.2	51.0	45.5	3.5
2019 (令和元) 年	4,014	28.9	7.0	34.3	4.5	0.4	48.7	47.9	3.4
2016 (平成28) 年	4,056	27.0	6.5	35.2	4.4	0.5	47.8	49.2	3.1
2013 (平成25) 年	4,043	22.7	5.4	30.2	3.9	0.4	42.1	55.4	2.5
2010 (平成22) 年	4,076	21.4	4.6	30.8	3.9	0.4	41.0	55.3	3.6
2007 (平成19) 年	4,059	23.7	5.0	29.5	4.1	0.2	41.2	55.9	2.9
2004 (平成16) 年	4,202	22.6	5.1	28.1	3.0	0.9	39.2	56.3	4.5
2001 (平成13) 年	4,197	24.2	5.4	29.9	3.8	0.4	40.8	54.9	4.3
1998 (平成10) 年	4,217	26.5	4.2	31.3	3.1	0.5	42.9	53.6	3.5

*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「損害保険」と「有価証券」は男性のほうが高くなっている。

性・年齢別にみると、「準備している」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。また、具体的な準備手段では、「生命保険」は男性40～60歳代、女性40歳代および60歳代で高く、「有価証券」は男性60歳代、女性70歳代で高い。また、「預貯金」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。
(図表V-17)

<図表V-17> 介護保障に対する私的準備状況〔性・年齢別〕

	N	(複数回答, 単位: %)							
		生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他	準備している	準備していない	わからない
男 性	2,101	27.8	9.7	43.3	12.8	0.4	56.5	39.7	3.7
20歳代	181	14.4▲	5.0▲	24.9▲	6.1▲	0.0	34.3▲	58.6	7.2
30歳代	225	20.0▲	4.4▲	32.0▲	13.8	0.0	44.0▲	53.3	2.7
40歳代	363	33.6	11.8	38.6▲	14.6	0.6	56.5	41.6	1.9▲
50歳代	406	34.2	11.3	40.4	11.6	0.2	58.4	37.7	3.9
60歳代	404	33.4	13.6	56.4	17.1	0.5	69.8	28.7▲	1.5▲
70歳代	485	23.9▲	8.2	53.4	12.0	0.6	62.1	33.0▲	4.9
女 性	2,736	28.9	7.5	44.5	7.0	0.2	57.9	39.0	3.0
20歳代	165	12.7▲	3.0▲	18.8▲	1.8▲	0.6	26.7▲	67.3	6.1
30歳代	282	27.3	6.0	37.6▲	6.4	0.0	51.8▲	44.7	3.5
40歳代	438	33.1	7.1	32.6▲	3.9▲	0.0	49.8▲	47.3	3.0
50歳代	576	31.6	8.3	42.2	8.0	0.2	58.9	38.7	2.4
60歳代	579	33.5	8.8	53.9	7.6	0.2	68.0	29.7▲	2.2
70歳代	668	25.9▲	7.9	56.9	9.4	0.4	66.2	31.3▲	2.5

性・本人職業別にみると、「準備している」は男性の商工サービス業、公務員、大企業被用者、女性の公務員、無職で高くなっている。具体的な準備手段では、「生命保険」は男性の自営者、公務員、大企業被用者、女性の商工サービス業、常雇被用者で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「準備している」は男女とも概ね高年収層ほど高くなっている。(図表V-18)

<図表 V-18> 介護保障に対する私的準備状況〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

(複数回答、単位: %)

		N						準備して いる	準備して いない	わからない
			生命保険	損害保険	預貯金	有価証券	その他			
男	性	2,101	27.8	9.7	43.3	12.8	0.4	56.5	39.7	3.7
本人職業	自 営 者	310	36.5	12.9	49.0	12.6	1.3	63.9	32.6▲	3.5
	農 林 漁 業	44	47.7	6.8	36.4	4.5	2.3	59.1	31.8	9.1
	商工サービス業	226	37.6	14.2	51.3	13.7	1.3	65.0	32.7▲	2.2
	常 雇 被 用 者	1,086	30.8	10.7	40.9▲	13.9	0.1▲	57.0	40.2	2.8▲
	公 務 員	107	39.3	14.0	46.7	14.0	0.0	66.4	29.9▲	3.7
	民 间 企 业 被 用 者	979	29.8	10.3	40.2▲	13.9	0.1	56.0	41.4	2.7▲
	小企 业 被 用 者	192	27.6	8.3	33.3▲	7.3▲	0.0	50.0	46.4	3.6
	中企 业 被 用 者	491	28.5	10.0	40.5	12.0	0.2	55.0	42.6	2.4
	大企 业 被 用 者	273	34.8	12.8	45.4	22.7	0.0	63.0	35.5	1.5▲
	非 正 规 社 员	166	25.3	9.0	42.2	8.4	0.0	53.0	44.6	2.4
	無 职	447	19.2▲	6.5▲	51.7	13.4	0.7	59.3	36.2	4.5
本人年収	収 入 は な い	93	11.8▲	3.2▲	17.2▲	3.2▲	0.0	26.9▲	63.4	9.7
	300 万 円 未 満	631	20.3▲	7.4▲	41.0	7.6▲	0.5	50.7▲	45.2	4.1
	300 ~ 500 万 円 未 満	472	28.4	8.5	42.8	11.4	0.4	57.2	40.5	2.3
	500 ~ 700 万 円 未 満	335	37.9	12.2	47.2	14.0	0.3	63.6	35.5	0.9▲
	700 ~ 1,000 万 円 未 満	187	36.4	18.2	47.6	20.3	0.0	67.4	30.5▲	2.1
	1,000 万 円 以 上	89	42.7	19.1	60.7	46.1	1.1	78.7	20.2▲	1.1
女	性	2,736	28.9	7.5	44.5	7.0	0.2	57.9	39.0	3.0
本人職業	自 営 者	190	36.3	10.5	42.1	7.4	0.0	62.6	33.7	3.7
	農 林 漁 業	25	24.0	8.0	48.0	0.0	0.0	60.0	36.0	4.0
	商工サービス業	141	39.0	11.3	41.8	8.5	0.0	63.1	32.6	4.3
	常 雇 被 用 者	672	34.5	8.2	41.7	7.1	0.1	58.0	39.6	2.4
	公 務 員	85	42.4	16.5	51.8	9.4	0.0	72.9	25.9▲	1.2
	民 间 企 业 被 用 者	587	33.4	7.0	40.2▲	6.8	0.2	55.9	41.6	2.6
	小企 业 被 用 者	139	35.3	5.0	35.3▲	7.2	0.0	54.7	42.4	2.9
	中企 业 被 用 者	282	31.6	6.7	39.4	4.6	0.0	53.5	44.0	2.5
	大企 业 被 用 者	135	35.6	8.9	44.4	10.4	0.7	59.3	38.5	2.2
	非 正 规 社 员	765	28.0	7.5	41.2▲	5.1▲	0.3	55.3	41.4	3.3
	無 职	1,027	26.0▲	6.7	50.7	8.6	0.3	61.2	36.1▲	2.6
本人年収	収 入 は な い	400	27.8	6.3	40.8	5.5	0.3	53.8	42.0	4.3
	100 万 円 未 満	615	21.8▲	5.5▲	44.7	5.7	0.2	54.0▲	42.8	3.3
	100 ~ 300 万 円 未 満	923	30.9	8.0	44.5	8.0	0.1	59.2	38.6	2.3
	300 ~ 500 万 円 未 満	299	34.4	10.0	47.2	9.4	0.0	61.9	36.5	1.7
	500 万 円 以 上	126	50.0	13.5	53.2	18.3	0.8	76.2	22.2▲	1.6

5. 介護保障としての生命保険（介護保険・介護特約）

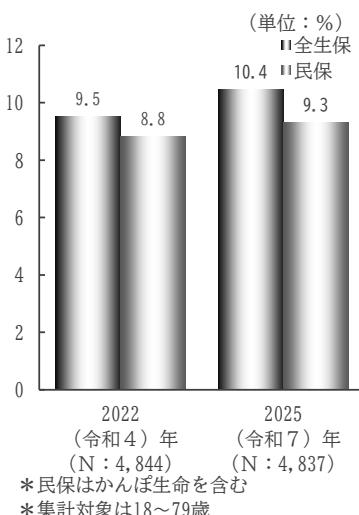
介護保障の準備割合は他の保障領域（医療保障、老後保障、死亡保障）と比較すると低いが、具体的な準備手段として「生命保険」は「預貯金」に次いで利用されている。

本節では、介護保障としての生命保険という観点から介護保険・介護特約の加入率をみていく。

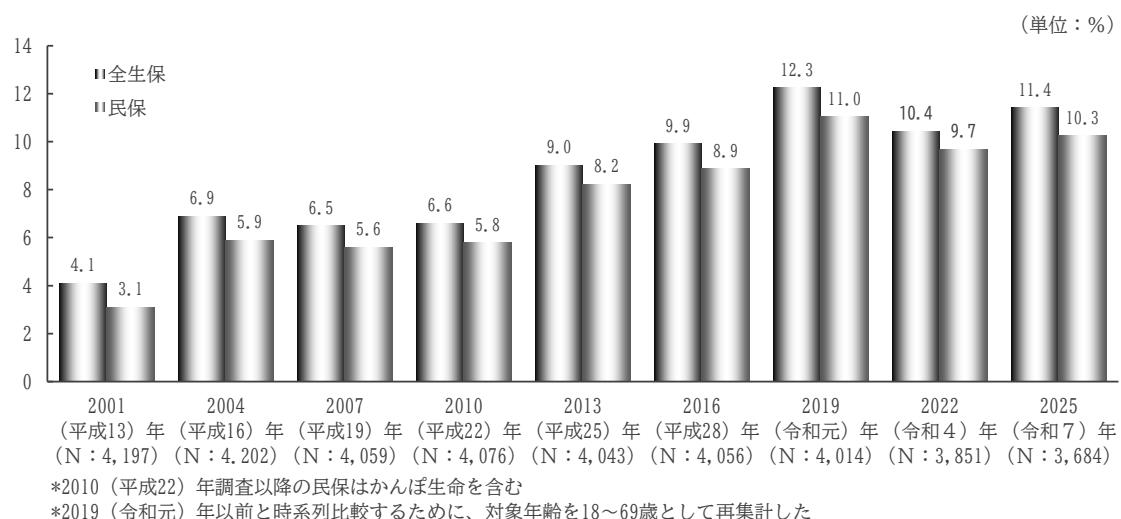
民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）、県民共済・生協等で取り扱っている介護保険・介護特約の加入率は、10.4%となっている。また、民保では9.3%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。（図表V-19）

図表V-19 介護保険・介護特約の加入率



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、介護保険・介護特約の加入率は全生保が男性で 11.0%、女性で 10.0%となっている。民保は男性で 9.9%、女性で 8.9%となっている。

性・年齢別にみると、全生保、民保ともに男性 40~50 歳代、女性 50 歳代で高くなっている。(図表V-20)

なお、その他の属性別のデータについては巻末の「付属統計資料」に掲載。

<図表 V-20> 介護保険・介護特約の加入率〔性・年齢別〕

(単位: %)

	N	全生保	民保
男 性	2,101	11.0	9.9
20 歳代	181	4.4▲	3.9▲
30 歳代	225	8.9	7.6
40 歳代	363	15.4	13.8
50 歳代	406	14.8	13.3
60 歳代	404	11.9	10.6
70 歳代	485	8.0▲	7.4▲
女 性	2,736	10.0	8.9
20 歳代	165	4.8▲	4.8
30 歳代	282	10.6	10.3
40 歳代	438	9.4	9.1
50 歳代	576	14.9	12.7
60 歳代	579	11.1	9.8
70 歳代	668	6.7▲	5.4▲

*民保はかんぽ生命を含む

6. 介護保障に対する充足感

介護に対する私的な経済的準備に公的介護保険を加えた、介護資金準備の充足感を捉えるため、以下のように尋ねた。

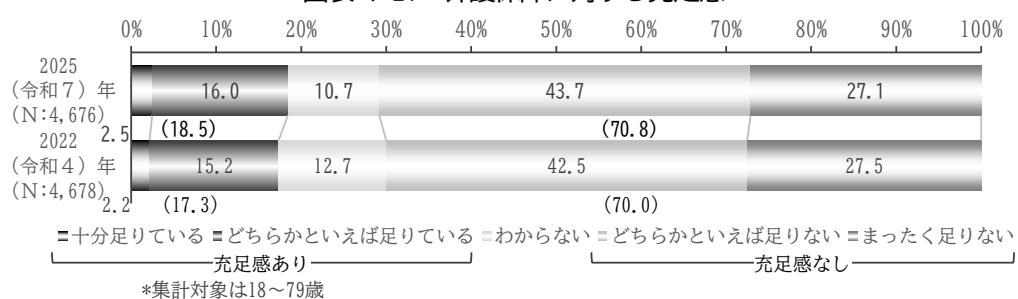
現在の備えに、公的介護保険をあわせると、介護される状態になった場合の準備は十分だとお考えですか。

- (ア) 十分足りている
- (イ) どちらかといえば足りている
- (ウ) どちらかといえば足りない
- (エ) まったく足りない
- わからない

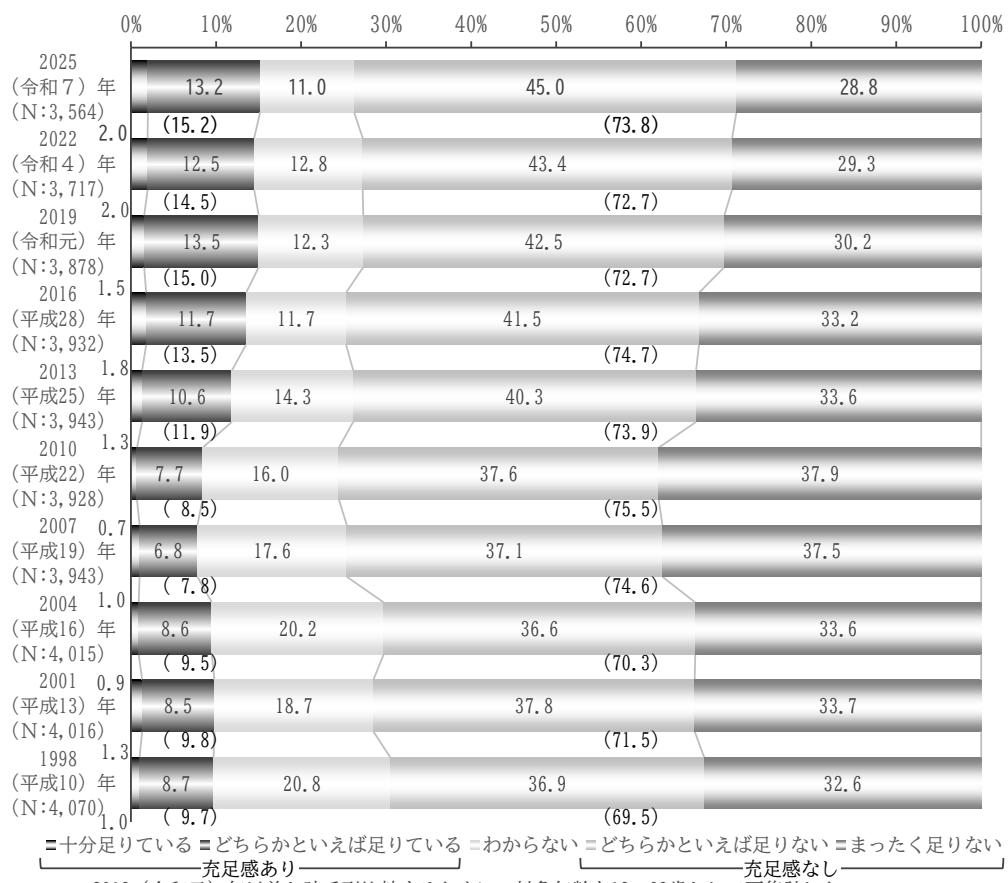
その結果、「充足感あり」（“十分足りている”と“どちらかといえば足りている”と回答した人の合計）は 18.5%、「充足感なし」（“どちらかといえば足りない”と“まったく足りない”と回答した人の合計）は 70.8%と、7割以上の人人が「充足感なし」と感じている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。（図表V-21）

図表 V-21 介護保障に対する充足感



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



性別にみると、「充足感なし」は女性（72.7%）が男性（68.4%）を4.3ポイント上回り、「充足感あり」は男性（20.9%）が女性（16.6%）を4.3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「充足感なし」は男性では30歳代と50歳代、女性では30～50歳代で高くなっている。一方、「充足感あり」は男女とも概ね高年齢層ほど高くなっている。（図表V-22）

<図表 V-22> 介護保障に対する充足感〔性・年齢別〕

（単位：%）

	N			充足感あり	わからない	充足感なし	どちらかといえれば足りない	まったく足りない
		十分 足りている	どちらかといえれば 足りている					
男 性	2,023	3.6	17.3	20.9	10.7	68.4	43.0	25.4
20歳代	168	1.2	6.5▲	7.7▲	17.9	74.4	39.9	34.5
30歳代	219	2.7	7.8▲	10.5▲	13.2	76.3	41.1	35.2
40歳代	356	1.4▲	17.4	18.8	10.7	70.5	45.2	25.3
50歳代	390	3.3	13.8▲	17.2▲	8.5	74.4	50.0	24.4
60歳代	398	6.0	21.9	27.9	9.5	62.6▲	44.5	18.1▲
70歳代	461	5.0	25.4	30.4	8.9	60.7▲	37.7▲	23.0
女 性	2,653	1.6	15.0	16.6	10.7	72.7	44.2	28.5
20歳代	155	0.6	8.4▲	9.0▲	18.7	72.3	40.6	31.6
30歳代	272	0.7	7.4▲	8.1▲	11.4	80.5	43.8	36.8
40歳代	425	0.2▲	7.8▲	8.0▲	11.1	80.9	46.4	34.6
50歳代	562	0.7	11.7▲	12.5▲	7.3▲	80.2	47.7	32.6
60歳代	566	2.3	18.6	20.8	10.6	68.6▲	45.2	23.3▲
70歳代	651	3.4	24.4	27.8	10.4	61.8▲	40.7▲	21.0▲

性・本人職業別にみると、「充足感なし」は男性では小企業被用者、中企業被用者、女性では民間企業被用者、非正規社員で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「充足感あり」は男性では700万円以上の層で、女性では500万円以上の層で、それぞれ高くなっている。(図表V-23)

<図表 V-23> 介護保障に対する充足感〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

(単位: %)

		N			充足感あり	わからない	充足感なし	どちらかといえど足りている	
			十分足りている	どちらかといえど足りている				どちらかといえど足りない	まったく足りない
男	性	2,023	3.6	17.3	20.9	10.7	68.4	43.0	25.4
本人職業	自 営 者	299	5.4	19.1	24.4	9.0	66.6	47.8	18.7▲
	農 林 漁 業	40	5.0	22.5	27.5	17.5	55.0	45.0	10.0▲
	商工サービス業	221	5.9	17.6	23.5	7.7	68.8	48.9	19.9▲
	常 雇 被 用 者	1,056	3.0	15.2▲	18.3▲	10.7	71.0	45.5	25.5
	公 務 員	103	5.8	25.2	31.1	9.7	59.2▲	48.5	10.7▲
	民間企業被用者	953	2.7▲	14.2▲	16.9▲	10.8	72.3	45.2	27.1
	小企業被用者	185	1.1	10.3▲	11.4▲	13.0	75.7	45.9	29.7
	中企業被用者	479	2.7	12.5▲	15.2▲	10.6	74.1	44.1	30.1
	大企業被用者	269	3.7	20.1	23.8	9.3	66.9	46.8	20.1▲
	非 正 規 社 員	162	3.1	11.1▲	14.2▲	11.7	74.1	41.4	32.7
	無 職	427	4.4	23.7	28.1	9.6	62.3▲	37.2▲	25.1
本人年収	収入はない	84	4.8	10.7	15.5	15.5	69.0	26.2▲	42.9
	300万円未満	605	2.8	14.5▲	17.4▲	11.6	71.1	42.6	28.4
	300～500万円未満	461	4.1	15.6	19.7	9.5	70.7	42.7	28.0
	500～700万円未満	332	3.3	15.7	19.0	8.1	72.9	49.4	23.5
	700～1,000万円未満	183	3.3	24.0	27.3	7.7	65.0	48.1	16.9▲
	1,000万円以上	88	10.2	31.8	42.0	8.0	50.0▲	38.6	11.4▲
女	性	2,653	1.6	15.0	16.6	10.7	72.7	44.2	28.5
本人職業	自 営 者	183	1.6	15.8	17.5	9.3	73.2	44.3	29.0
	農 林 漁 業	24	0.0	16.7	16.7	12.5	70.8	45.8	25.0
	商工サービス業	135	2.2	17.8	20.0	8.9	71.1	40.7	30.4
	常 雇 被 用 者	656	0.6▲	12.3▲	13.0▲	10.4	76.7	46.5	30.2
	公 務 員	84	2.4	16.7	19.0	6.0	75.0	52.4	22.6
	民間企業被用者	572	0.3▲	11.7▲	12.1▲	11.0	76.9	45.6	31.3
	小企業被用者	135	0.7	11.9	12.6	10.4	77.0	46.7	30.4
	中企業被用者	275	0.4	10.9▲	11.3▲	12.0	76.7	43.3	33.5
	大企業被用者	132	0.0	10.6	10.6	11.4	78.0	47.0	31.1
	非 正 規 社 員	740	1.1	10.5▲	11.6▲	8.9	79.5	47.4	32.0
	無 職	1,000	2.6	20.5	23.1	11.4	65.5▲	40.7▲	24.8▲
本人年収	収入はない	383	2.3	14.1	16.4	13.1	70.5	40.7	29.8
	100万円未満	595	1.5	12.4▲	13.9▲	10.6	75.5	44.4	31.1
	100～300万円未満	902	1.7	15.3	17.0	9.4	73.6	43.8	29.8
	300～500万円未満	294	1.0	15.3	16.3	9.5	74.1	50.0	24.1
	500万円以上	124	2.4	22.6	25.0	9.7	65.3	47.6	17.7▲

7. 介護保障に対する今後の準備意向

介護に対する現在の経済的準備にプラスして今後新たな準備をする意向があるのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

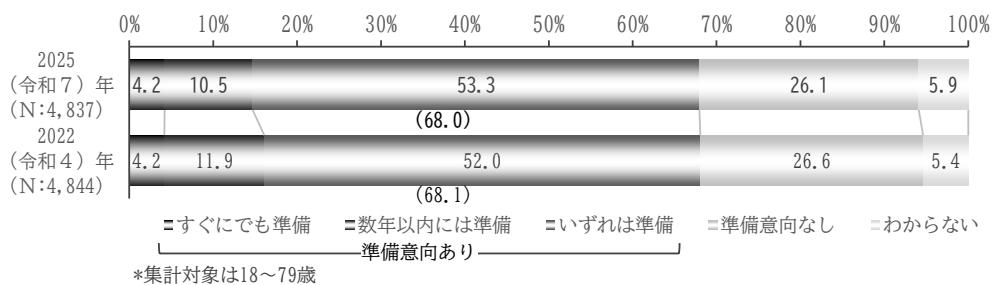
あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に備えて、今後新たに経済的な準備をしたいとお考えですか。

(ア) すぐにでも準備したい……………以下「すぐにでも準備」
 (イ) 数年以内には準備したい……………以下「数年以内には準備」
 (ウ) 特に時期は決めていないが、いずれは準備したい……………以下「いずれは準備」
 (エ) まったく準備するつもりはない……………以下「準備意向なし」
 わからない

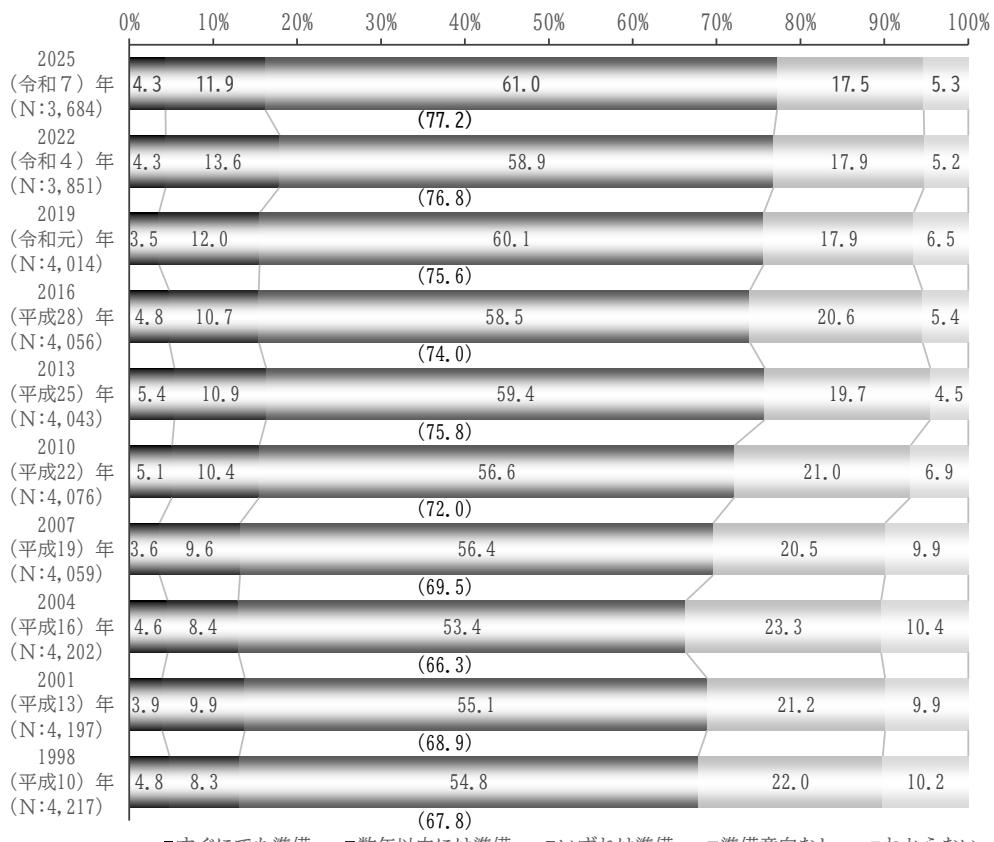
その結果、「準備意向あり」(上記の選択肢で(ア)～(ウ)のいずれかに回答した人の合計)は68.0%、「準備意向なし」は26.1%となっている。

前回と比較しても、大きな差異はみられない。(図表V-24)

<図表 V-24> 介護保障に対する今後の準備意向



【参考】時系列でみても、一貫した傾向はみられない。



*2019 (令和元) 年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみても、大きな差異はみられない。

性・年齢別にみると、「準備意向あり」は男女とも20~50歳代で高くなっている。(図表V-25)

<図表 V-25> 介護保障に対する今後の準備意向〔性・年齢別〕

	N	(単位: %)					
		すぐにでも準備	数年以内には準備	いざれば準備	準備意向あり	準備意向なし	わからない
男性	2,101	4.3	10.7	52.3	67.3	27.3	5.4
20歳代	181	3.3	7.7	71.8	82.9	10.5▲	6.6
30歳代	225	2.2	7.6	71.6	81.3	13.3▲	5.3
40歳代	363	6.3	14.0	61.4	81.8	13.2▲	5.0
50歳代	406	4.2	16.0	61.8	82.0	13.8▲	4.2
60歳代	404	5.0	11.1	42.3▲	58.4▲	36.4	5.2
70歳代	485	3.9	6.4▲	28.7▲	39.0▲	54.4	6.6
女性	2,736	4.1	10.4	54.0	68.5	25.2	6.3
20歳代	165	1.2	8.5	75.2	84.8	10.3▲	4.8
30歳代	282	1.8▲	12.8	71.3	85.8	9.2▲	5.0
40歳代	438	2.5	14.2	73.3	90.0	6.8▲	3.2▲
50歳代	576	6.1	12.3	63.9	82.3	13.7▲	4.0▲
60歳代	579	5.9	10.4	44.2▲	60.4▲	30.7	8.8
70歳代	668	3.7	6.0▲	28.3▲	38.0▲	53.3	8.7

性・本人職業別にみると、「準備意向あり」は男性では商工サービス業、民間企業被用者で、女性では常雇被用者および非正規社員で、それぞれ高くなっている。(図表V-26)

<図表 V-26> 介護保障に対する今後の準備意向 [性・本人職業別]

(単位: %)

	N						
		すぐにでも準備	数年以内には準備	いずれは準備	準備意向あり	準備意向なし	わからない
男 性	2,101	4.3	10.7	52.3	67.3	27.3	5.4
自 営 者	310	6.8	13.5	51.3	71.6	24.5	3.9
農 林 漁 業	44	6.8	6.8	36.4▲	50.0▲	40.9	9.1
商工サービス業	226	8.0	14.6	54.0	76.5	20.4▲	3.1
常 雇 被 用 者	1,086	4.5	12.8	59.0	76.3	18.6▲	5.1
公 務 員	107	3.7	6.5	64.5	74.8	21.5	3.7
民間企業被用者	979	4.6	13.5	58.4	76.5	18.3▲	5.2
小企業被用者	192	7.8	10.9	56.8	75.5	17.7▲	6.8
中企業被用者	491	3.5	15.5	58.0	77.0	18.1▲	4.9
大企業被用者	273	3.7	11.7	61.5	76.9	18.7▲	4.4
非 正 規 社 員	166	3.0	7.8	59.6	70.5	25.3	4.2
無 職	447	3.1	5.8▲	30.2▲	39.1▲	52.8	8.1
女 性	2,736	4.1	10.4	54.0	68.5	25.2	6.3
自 営 者	190	7.4	13.2	48.4	68.9	26.3	4.7
農 林 漁 業	25	4.0	16.0	32.0▲	52.0	36.0	12.0
商工サービス業	141	7.1	12.1	49.6	68.8	28.4	2.8
常 雇 被 用 者	672	4.3	10.6	68.6	83.5	13.4▲	3.1▲
公 務 員	85	2.4	9.4	72.9	84.7	14.1▲	1.2▲
民間企業被用者	587	4.6	10.7	68.0	83.3	13.3▲	3.4▲
小企業被用者	139	2.9	11.5	68.3	82.7	14.4▲	2.9
中企業被用者	282	4.6	11.3	68.8	84.8	12.1▲	3.2▲
大企業被用者	135	5.2	8.1	70.4	83.7	12.6▲	3.7
非 正 規 社 員	765	5.2	12.7	61.6	79.5	15.7▲	4.8
無 職	1,027	2.9▲	8.4▲	38.9▲	50.1▲	40.7	9.2

8. 介護の資金をまかなう手段

自分自身が要介護状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていこうと考えているのかを捉えるため、以下のように尋ねた。

あなたは、ご自身が介護される状態になった場合に、どのような手段で介護費用をまかなっていこうとお考えですか。これから準備しようとお考えのものも含めて、この中からいくつでもお答えください。

- (ア) 公的介護保険
- (イ) 公的年金（国民年金・厚生年金・共済年金）
- (ウ) 企業年金・退職金
- (エ) 民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）などで取り扱っている介護関係の特約や介護関係の生命保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「生命保険」
- (オ) 民間の生命保険会社や郵便局、JA（農協）などで取り扱っている個人年金保険・変額個人年金保険（銀行・証券等の窓口で加入した商品も含む）……………以下「個人年金保険・変額個人年金保険」
- (カ) 介護費用保険などの損害保険……………以下「損害保険」
- (キ) 預貯金
- (ク) 株式・債券などの有価証券……………以下「有価証券」
- (ケ) 不動産の売却や賃貸などによる収入……………以下「不動産による収入」
- (コ) 子どもからの援助
- (サ) その他
わからない

その結果、「公的介護保険」が78.5%と最も高く、以下「預貯金」(66.4%)、「公的年金」(64.6%)、「生命保険」(27.0%)の順となっている。

前回と比較すると、「公的介護保険」が3.1ポイント、「有価証券」が2.2ポイント、それぞれ増加し、「生命保険」が3.1ポイント減少している。（図表V-27）

図表 V-27 介護の資金をまかなう手段

	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
2025 (令和7)年	4,837	78.5	64.6	21.9	27.0	10.0	8.4	66.4	10.6	4.1	2.7	0.4	3.5
2022 (令和4)年	4,844	75.4	64.1	22.2	30.1	10.1	8.8	66.0	8.4	3.3	2.3	0.5	3.7

*集計対象は18~79歳

【参考】時系列でみると、2010（平成22）年以降、「有価証券」の増加傾向が続いている。

(複数回答、単位: %)													
	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	個人年金保険・変額個人年金保険	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
2025 (令和7)年	3,684	77.7	64.3	25.4	29.4	10.9	9.6	65.7	10.9	3.6	2.2	0.4	3.8
2022 (令和4)年	3,851	74.2	63.7	25.3	31.9	11.1	9.8	65.1	8.4	3.1	1.8	0.4	4.1
2019 (令和元)年	4,014	73.6	60.9	26.3	31.0	10.9	8.2	63.5	5.5	4.8	2.0	0.2	5.0
2016 (平成28)年	4,056	76.9	63.8	25.7	29.6	11.0	7.8	64.2	5.4	3.6	2.8	0.7	4.0
2013 (平成25)年	4,043	74.1	59.8	23.7	26.9	10.3	6.5	59.4	4.4	2.7	3.1	0.8	4.4
2010 (平成22)年	4,076	75.6	59.2	22.6	26.0	11.3	6.1	60.9	4.4	3.1	3.2	0.9	5.1
2007 (平成19)年	4,059	74.9	59.0	21.9	28.9	12.8	7.3	58.5	4.8	4.0	3.4	0.6	6.4
2004 (平成16)年	4,202	73.7	61.0	18.5	30.4	12.8	5.7	57.2	4.1	3.6	4.7	0.5	7.6
2001 (平成13)年	4,197	71.2	61.9	24.1	32.5	15.9	7.4	59.0	4.2	3.5	4.2	0.5	7.3
1998 (平成10)年	4,217	48.3	59.6	22.4	33.7	18.8	6.4	58.9	3.7	4.0	4.9	0.4	10.1

*2004（平成16）年調査以前は「個人年金保険」

*2019（令和元）年以前と時系列比較するために、対象年齢を18～69歳として再集計した

性別にみると、「公的介護保険」、「預貯金」、「子どもからの援助」は女性の方が高く、「企業年金・退職金」、「損害保険」、「有価証券」、「不動産による収入」は男性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、「公的介護保険」は男性60～70歳代で高くなっている。また、「生命保険」は男性40～50歳代、女性30～50歳代で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男女とも40歳代で高くなっている。（図表V-28）

<図表V-28> 介護の資金をまかぬ手段〔性・年齢別〕

(複数回答、単位: %)													
	N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	額個人年金保険・変	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない
男性	2,101	77.1	64.6	29.0	26.2	10.4	10.0	64.3	15.1	4.8	1.9	0.5	3.4
20歳代	181	69.1▲	65.2	44.2	23.8	8.3	12.2	60.8	14.4	1.1▲	1.7	0.0	8.8
30歳代	225	71.6▲	63.6	37.8	22.7	9.3	9.3	68.4	17.8	2.2	0.9	0.4	5.3
40歳代	363	73.0▲	64.2	39.7	34.4	14.6	14.6	62.8	17.4	6.1	1.4	0.3	4.1
50歳代	406	77.3	63.5	33.3	33.5	12.1	9.6	61.3	13.8	3.9	1.0	0.7	1.5▲
60歳代	404	83.7	67.6	21.3▲	24.3	11.6	11.1	67.1	17.6	6.2	2.7	0.5	1.7▲
70歳代	485	80.4	65.2	14.0▲	19.4▲	6.4▲	5.2▲	65.4	12.4	6.4	2.9	0.8	2.5
女性	2,736	79.5	64.6	16.4	27.6	9.7	7.1	68.1	7.2	3.6	3.4	0.3	3.5
20歳代	165	74.5	61.2	33.9	18.8▲	2.4▲	10.3	64.8	3.6	0.6▲	1.2	0.0	10.9
30歳代	282	73.4▲	59.2▲	23.8	33.0	12.4	11.7	70.9	7.4	1.4▲	0.0▲	0.0	4.3
40歳代	438	79.7	62.8	20.5	34.2	12.8	8.7	62.8▲	5.5	3.0	2.5	0.2	3.4
50歳代	576	80.6	64.9	18.2	33.5	11.1	6.9	64.9	9.2	3.3	2.4	0.3	2.6
60歳代	579	82.0	68.6	12.3▲	26.8	9.3	6.6	71.5	7.1	4.7	4.5	0.5	2.8
70歳代	668	81.4	66.0	8.2▲	19.3▲	7.5▲	3.9▲	71.3	7.6	5.2	5.5	0.4	2.1▲

性・本人職業別にみると、「生命保険」は男性の商工サービス業、大企業被用者、女性の商工サービス業、公務員、大企業被用者で高く、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性の商工サービス業、大企業被用者、女性の商工サービス業で高くなっている。

性・本人年収別にみると、「企業年金・退職金」、「生命保険」は男女とも概ね高年収層ほど高くなっている。また、「個人年金保険・変額個人年金保険」は男性では500～700万円未満の層および1,000万円以上の層で、女性では300万円以上の層で、それぞれ高くなっている。(図表V-29)

<図表V-29> 介護の資金をまかなう手段〔性・本人職業別、性・本人年収別〕

		N	公的介護保険	公的年金	企業年金・退職金	生命保険	額個人年金保険・変	損害保険	預貯金	有価証券	不動産による収入	子どもからの援助	その他	わからない	(複数回答、単位: %)	
性	職業															
男	性	2,101	77.1	64.6	29.0	26.2	10.4	10.0	64.3	15.1	4.8	1.9	0.5	3.4		
本人職業	自営者	310	74.2	62.6	13.5▲	32.6	14.8	12.3	68.4	15.5	9.0	3.2	0.3	2.9		
	農林漁業	44	75.0	79.5	9.1▲	31.8	11.4	9.1	50.0▲	2.3▲	4.5	4.5	2.3	6.8		
	商工サービス業	226	74.8	59.7	16.4▲	34.5	16.4	13.7	69.9	16.8	10.6	3.5	0.0	1.8		
	常雇被用者	1,086	76.7	67.3	41.2	28.8	12.1	12.1	64.0	16.7	4.1	1.8	0.2▲	3.0		
	公務員	107	79.4	75.7	53.3	27.1	14.0	11.2	68.2	15.9	4.7	1.9	0.0	2.8		
	民間企業被用者	979	76.4	66.4	39.8	29.0	11.8	12.2	63.5	16.8	4.1	1.8	0.2	3.1		
	小企業被用者	192	79.7	69.3	24.5	27.1	12.0	12.0	57.8	9.9▲	2.6	4.2	0.0	4.7		
	中企業被用者	491	77.0	65.6	37.7	28.9	9.4	10.0	63.5	15.3	4.5	1.6	0.2	3.5		
	大企業被用者	273	73.6	66.3	54.2	31.1	15.8	15.8	67.4	25.3	4.8	0.7	0.4	1.5		
	非正規社員	166	73.5	60.8	16.3▲	21.1	7.2	7.2	64.5	9.6▲	5.4	0.6	0.0	4.2		
本人年収	無職	447	81.4	62.4	13.6▲	18.1▲	4.5▲	4.3▲	63.3	13.0	4.0	1.6	1.8	2.9		
	収入はない	93	75.3	53.8▲	12.9▲	17.2▲	7.5	5.4	49.5▲	7.5▲	0.0▲	0.0	2.2	6.5		
	300万円未満	631	79.7	61.8	18.5▲	19.7▲	6.8▲	5.9▲	61.6	8.7▲	4.0	1.7	0.8	3.0		
	300～500万円未満	472	77.5	66.9	33.5	27.5	10.8	11.9	64.8	13.3	4.7	3.2	0.2	3.2		
	500～700万円未満	335	74.0	68.1	41.2	37.0	14.9	12.2	68.1	17.9	4.8	1.8	0.3	2.1		
	700～1,000万円未満	187	73.8	68.4	44.4	31.0	12.8	16.6	69.0	24.6	8.6	1.1	0.0	2.1		
	1,000万円以上	89	80.9	67.4	44.9	40.4	23.6	18.0	75.3	46.1	13.5	2.2	0.0	1.1		
	女性	2,736	79.5	64.6	16.4	27.6	9.7	7.1	68.1	7.2	3.6	3.4	0.3	3.5		
	自営者	190	77.9	65.3	5.8▲	33.2	16.3	7.9	67.9	7.4	3.2	0.5▲	1.6	2.6		
	農林漁業	25	72.0	60.0	4.0	32.0	20.0	8.0	72.0	0.0	4.0	0.0	0.0	4.0		
本人職業	商工サービス業	141	80.9	68.1	5.7▲	34.8	17.0	6.4	68.8	7.8	2.8	0.7	0.7	1.4		
	常雇被用者	672	81.4	66.5	35.1	33.9	10.4	8.9	70.8	7.1	2.5	2.7	0.0	3.0		
	公務員	85	88.2	76.5	45.9	37.6	11.8	8.2	76.5	8.2	2.4	2.4	0.0	1.2		
	民間企業被用者	587	80.4	65.1	33.6	33.4	10.2	9.0	70.0	7.0	2.6	2.7	0.0	3.2		
	小企業被用者	139	75.5	65.5	20.1	32.4	8.6	6.5	62.6	7.9	4.3	1.4	0.0	5.8		
	中企業被用者	282	80.1	66.7	35.5	28.4	12.1	8.5	70.6	5.0	1.4▲	3.5	0.0	2.5		
	大企業被用者	135	85.2	63.0	45.2	45.2	9.6	13.3	74.1	9.6	3.0	0.7	0.0	1.5		
	非正規社員	765	80.0	62.5	12.9▲	29.4	9.5	7.6	63.4▲	5.4▲	3.9	3.4	0.1	3.8		
	無職	1,027	79.3	64.8	7.9▲	21.9▲	8.3	5.5▲	70.7	8.8	4.4	4.3	0.5	2.6		
	収入はない	400	73.3▲	62.3	8.5▲	27.8	9.0	9.0	69.3	7.3	2.3	1.8	0.3	3.8		
本人年収	100万円未満	615	77.9	62.3	10.4▲	19.5▲	7.6	6.8	64.2▲	5.7	4.9	4.2	0.5	3.9		
	100～300万円未満	923	81.9	67.5	14.7	31.0	9.9	6.9	68.6	7.5	3.3	3.9	0.5	3.0		
	300～500万円未満	299	82.3	65.9	33.4	34.8	14.7	10.0	76.3	9.0	2.3	3.3	0.0	1.3▲		
	500万円以上	126	83.3	68.3	49.2	42.9	15.9	7.9	74.6	18.3	4.8	1.6	0.0	3.2		